

2022.07.28

日本文化を英語で発信プロジェクト第6弾

「花火文化」を英語で学ぶオンラインセミナーを開催しました。

開催日：2022年7月2日(土) 14:30～15:10

開催場所：オンライン(Zoom)開催

日本の文化を英語で再発見し、世界へ伝えることを目的としたプロジェクト「日本文化を英語で発信プロジェクト」の第6弾を開催しました。

日本文化への関心が世界中で高まる中、本プロジェクトでは日本人でもあまり知らない日本文化に焦点を当て、英語で掘り下げていくセミナーです。第6弾は、公益社団法人日本煙火協会にご協力いただき、夏の日本の風物詩である「花火文化」について取り上げました。花火文化にまつわるクイズや花火の歴史を英語で紹介、さらに海外に向けて発信する際の英語フレーズを練習しました。英語表現だけでなく、日本独自の文化を海外へ伝えるためのポイントを学べるオンラインセミナーとなりました。



【セミナー内容】

①「花火クイズ」

まずは、花火にまつわるクイズを出題。参加者の皆さんに解答していただきました。質問によっては解答が割れ、参加者の皆さんにとって意外な答えだったものもあったようです。

—————《クイズ例》—————

「Q.日本で一番大きな花火玉の重さは約何kgでしょう？」

→「A.420kg」

「Q.観賞用の花火が大きく発展したのは、どこの国からでしょう？」

→「A.イタリア」

②「花火文化ミニ講座」

ミニ講座では日本の花火の歴史、打ち上げ花火のしくみ、花火通になるためのポイントなどを、英会話イーオンインストラクターのJohnny先生が英語で紹介しました。英語表現だけでなく、日本の花火文化を海外へ伝える際にポイントとなる内容を学べる講座となりました。

③「英語表現ミニレッスン」

英語表現ミニレッスンでは、日本文化を説明する際に役立つ英単語やフレーズなどを、例文とともにご紹介しました。画面の前で実際にJohnny先生の後に続いてリピート練習をする時間も設けられました。

—————《表現例》—————

date back to ~までさかのぼる、**be launched** 打ち上げられる、発売される
◆Johnny先生の後に続いて、リピート練習をしました！◆

The establishment of *Horyuji Temple* **dates back to** 607.
(法隆寺の建立は607年まで**さかのぼる**。)

A new line of the UK's most popular cosmetics will **be launched**
in Japan next year.

(英国で一番人気のある化粧品の新製品が来年日本で**発売される**
予定です。)

Hanabi Quiz

6. 観賞用の花火が大きく発展したのは、どこの国からでしょう？
日本・イタリア・アメリカ・中国

【正解】イタリア



Fireworks were used at Christian festivals in Italy in the 14th century and were very popular, and later spread throughout Europe as cities developed and commercial capital flourished.

14世紀にイタリアで行われたキリスト教のお祭りで花火を使用し、大変盛り上がったことから、その後、都市の発達や商業資本の隆盛として、ヨーロッパ全土に広まりました。

More About Hanabi

The first point is to know the name of the shells. In the case of Japanese fireworks, each firework is given a shell name or *gyoku-me*. There are certain rules for naming the shells, which express what kind of phenomenon the firework represents from the time it is launched until it disappears. If you can accurately picture the contents of the firework and the scene when it bursts, then you are a true connoisseur of fireworks!

1つ目のポイントは、玉名を知ることです。日本の打ち上げ花火の場合は、花火玉の一つ一つに名前「玉名」が付けられています。この玉名の付け方には一定の決まりがあり、その花火が打ちあがってから消えるまでにどういった現象を表すかを表現しています。花火の内容や開いた時の情景を、玉名で正確に思い描くことができるようになれば、まさしく本格的な花火通です！

【例】昇笛付八重芯変化牡丹

昇笛付：ヒューという音を発しながら昇る
八重芯：二重の芯を持った
変化：色が変化する
牡丹：尾を引かず、最初から丸く開く花火



出典：令和3年度 花火入門 (公益社団法人 日本煙火協会)

★日本語字幕があるので、英語初級者でも安心です。

English Lesson

Let's Practice

be launched

打ち上げられる、発売される

教師に続いてリピートしましょう。

A new line of the UK's most popular cosmetics will **be launched** in Japan next year.

(英国で一番人気のある化粧品の新製品が来年日本で**発売される**予定です。)

★単語・フレーズの使い方がイメージしやすい例文もご紹介

⑤ 質疑応答

質疑応答では事前に参加者から寄せられた質問に、公益社団法人日本煙火協会 河野晴行氏にビデオメッセージでお答えいただきました。その中でも1番多かった質問は、海外の花火事情に関する質問でした。河野氏は、質問に対し、それぞれの国で花火をやる目的が違うとお話されました。日本では四季があり、夏の風物詩として花火を開催するが、アメリカであれば独立記念日、ヨーロッパの方であれば復活祭などのイベント時に開催されることが花火の役割になるということです。



他にも「日本の花火と海外の花火の違いはありますか？」「花火の鮮やかな色はどうして出るのですか？」など、様々な質問が寄せられました。河野氏は、花火には伝統的な技術があり、時代とともに新しいものに挑戦していく事でよりいいものが出てくるとお話ししてくださいました。セミナーをサポートした伊藤も日本の“温故知新”という文化ですねとうなずいていました。



他にもこんなセミナーがあります！

イーオンで、大好評の音読トレーニングが学べるセミナーを開催しています！
効果的な学習法を求めている方、必見！
英語力アップのヒントが必ず見つかります♪

ご興味のある方は下記URLより、最新情報をご確認ください。

[【https://aeonconnect.jp/】](https://aeonconnect.jp/)

【イーオンについて】

イーオンは1973年に創業以来、語学教育を通じた世界で通用する人材育成を目指しています。英語上達のためにオリジナル教材を開発し、指導力と人柄ともに優れた日本人教師と外国人教師を採用。それぞれの強みを活かした効果的なレッスンで、学習者が苦手を克服しながらコミュニケーション力を高め、日常英会話やビジネスで使える英語力の習得、また資格取得に関してもサポートを行っています。

2018年からはKDDIグループの一員となり、イーオンの持つ英語教育のノウハウと、KDDIグループの持つ情報通信技術を掛け合わせたEdTechを推進し、サービス提供に取り組んでいます。

イーオンでは、安心して英語を学んでいただくために、

- 新型コロナウイルス感染拡大防止を最大限整えた環境を提供します。
- 生徒様の授業料に対して、「前受金分別信託制度」を導入しています。

◆イーオン公式HP：<https://www.aeonet.co.jp>

本件に関するお問い合わせ

インフォメーションセンター：0800-111-1111
(月～金：12時～18時)